

不同沈下の計算

2Dカラーコンター、3Dグラデーション、
3Dワイヤーフレームで沈下図を表示します

価格 **150,000円** (税抜)

適用基準・参考文献

- 道路土工-軟弱地盤対策工指針 (日本道路協会)
- 土質工学ハンドブック (土質工学会)
- 建築基礎構造設計指針 (日本建築学会)

製品概要

本システムは、地盤平面を格子状に分割し、ある荷重が周辺地盤に及ぼす影響をNewmarkの長方形分割法により求めます。指定した測点位置での即時沈下量、圧密沈下量及び、圧密時間を考慮した残留沈下量の計算が可能です。圧密沈下量及び残留沈下量の計算には、e-logP法、Cc法、mv法による計算が可能です。なお、即時沈下量にはSteinbrennerの式を使用します。

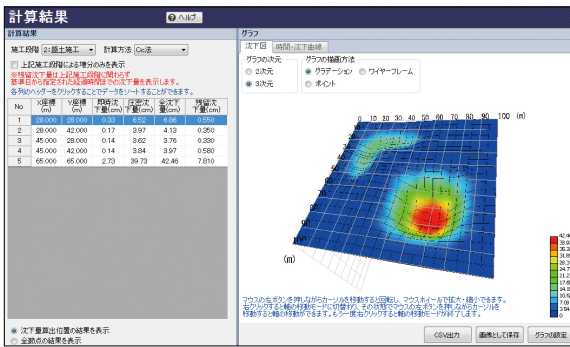
機能詳細

計算

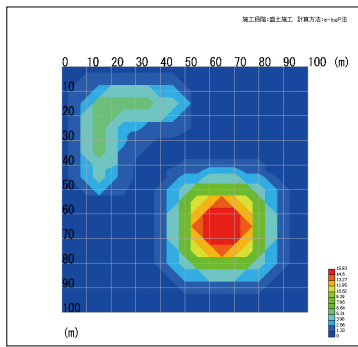
- 「圧密沈下」、「即時沈下」、「残留沈下」の各種沈下量の計算を行います。
- 圧密沈下量および残留沈下量計算は、「e-logP法」、「Cc法」、「mv法」から選択でき、同時に3方法による計算も可能です。
- 荷重の載荷方法は「等分布荷重」と「盛土荷重[※]」の2種類から選択でき、同時に載荷させることも可能です。
 ※盛土荷重は内部的に等分布荷重として扱います。
- 層区分として、「砂質土」、「粘性土両面排水」、「粘性土片面排水」、「非圧密層」から選択できます。また、多層地盤の入力が可能です (最大30層)。
- 段階施工の検討ができます。
- 3つの沈下計算による「沈下図」および「時間-沈下曲線図」を表示および保存することができます。

スクリーンショット

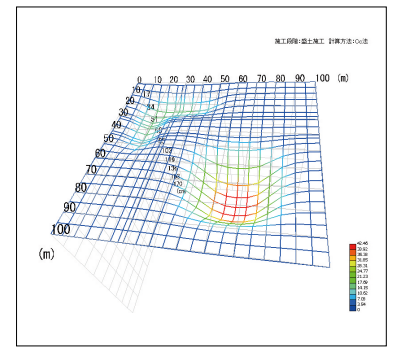
● 計算結果画面



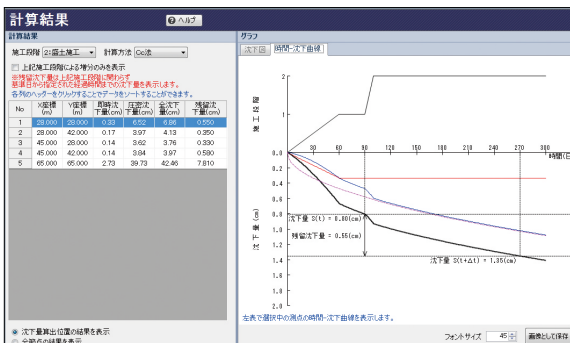
● 沈下図(2Dカラーコンター)



● 沈下図(3Dワイヤーフレーム)



● 計算結果画面(時間-沈下曲線)



● 地層条件入力画面



● 出力(即時沈下量の計算方法)

